

家庭教育通信



第13号

の・ぼり・ざ・か

神奈川県教育委員会は、「かながわ教育ビジョン」に基づき、明日のかながわを担う人づくりの一環として、子育てや家庭教育を応援しています！

株式会社 ファンケル

取組内容

- 「ファミリーデー」開催
- 福利厚生サービス利用による子育て支援
(出産・育児の無料相談、レジャー施設割引による家族サービスの働きかけ 等)
- 「ノー残業デー」における家庭サービスの働きかけ
- 「リフレッシュ休暇」「ライフイベント休暇」取得の推奨



料理に挑戦！



社長からの「感謝状」

ファンケルでは、従業員の子どもと家族を職場に招く「ファミリーデー」を2017年より実施しています。これは、子どもや家族と職場との交流を通じてお互いの理解を深めてもらうこと、また、周囲の従業員には、同僚の家族との交流から、互いを理解し助け合う文化が醸成されることを目的としています。

今年は、7月25日に開催し、31家族76名の参加がありました。当日、子どもたちは、会社員としての挨拶や名刺交換を練習したり、当社商品を使ったクッキング等を体験。また、社員食堂の食事堪能しました。最後は社長から「感謝状」が手渡され、思い出に残る一日となったようでした。



発行：平成30年12月17日
編集：神奈川県教育委員会
生涯学習部生涯学習課

新しい協力事業者の紹介

神奈川県教育委員会では、従業員の家庭教育に係る活動を支援・推進する事業者と協定を結び、その活動を支援する「家庭教育協力事業者連携事業」に取り組んでいます。

ここでは、これまで協定を締結していただいた事業者175社のうち、平成29年度に新たに協力をいただいた事業者2社をご紹介します。

<平成29年度協定締結事業者>

	事業者名	所在	事業内容	取組内容
1	リーフラス株式会社 神奈川ブロック	横浜市	スポーツによるソーシャルビジネス（子供向けスポーツスクール事業、部活動支援事業、地域共働事業、ヘルスケア事業、講演研修事業、アライアンス事業）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有給休暇等を利用した参観日や学校行事への参加を働きかける ○ 親子参加型の運動会や社員の家族との交流会を実施する。 ○ 運営するスクールに社員の子どもが通うことによって、保護者の仕事を理解できるようにする。
2	株式会社 ハリマビシステム	横浜市	総合ビルメンテナンス（清掃・設備・警備）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ノー残業デー」による家庭コミュニケーション充実の働きかけ ○ 有給休暇取得等を利用した学校行事への参加を働きかけ



取組事例募集！

協定締結事業者の皆様。あなたの会社の取組事例を紹介してみませんか。随時募集しておりますので、生涯学習課まで御連絡ください。

のぼりざか

家庭教育支援は終わることのない坂道をゆっくりと登っていくようなものです。子育て家族を社会がしっかりと支えていくために、神奈川県と県内の事業者が手を取り合ったこの事業も、こつこつとここまで進んでまいりました。

これからも、時間はかかってもその歩みが止まらぬよう、坂の上を目指して努めてまいります。



子どもたちの育ちを支える取組



かながわの「学び」は、人づくり。自分づくり。

かながわ教育月間

神奈川県教育委員会は、「かながわ教育ビジョン」の理念の実現に向け、県民の皆さんにスポーツ・文化を含めた教育への関心や参加意識を高めていただくことで、協働・連携による人づくり・自分づくりを進め、かながわの教育をより一層推進するきっかけとするため「かながわ教育月間」を定めています。期間中は、県内で多くの教育・文化・スポーツに関するイベントが開催されます。

【かながわ人づくりコロポ2018】



平成30年度は10月6日（土）～11月4日（日）までとなり、県内で793件の教育イベント（教育に関わる取組）が様々な団体によりエントリーされ、集中的に開催されました。

平成31年度は**平成31年10月12日(土)～11月3日(日)の期間**

※ 9月28日(土)～11月17日(日)に開催される教育イベントも教育月間に関連した取組みとして一体的に広報を行っていく予定です。

【本件に関する問合せ】教育局総務室教育ビジョン・広報グループ 045-210-8078
【ホームページ】http://www.pref.kanagawa.jp/docs/u5t/gekkan/gekkan_top.html

神奈川県生涯学習審議会

神奈川県では、生涯学習の施策について調査審議するため、「生涯学習審議会」を設置しています。この審議会において、平成28年度から2年間にわたり「地域と学校の連携・協働の推進」について審議いただき、このたび答申がなされました。この中では、民間事業者を含めた地域の皆さんや機関等と学校とが連携し、子どもたちを地域全体で育てていくことの効果が、事例とともに紹介され、「できることから子どもたちの育ちを支えるボランティアを始める」機運を地域の中に作り出していきたいものです、と述べられています。

地域と学校が連携し地域全体で子どもを育てる取組として、答申ではこんな事例が紹介されました。

厚木市森の里地区
「ふれあい喫茶の
授業」

小田原市
放課後子ども教室

南足柄市
地域学校支援事業

藤沢市
学校間交流（三
者連携ふじさ
わ）

茅ヶ崎市
ふくろう塾（ま
ちちから協議
会）

平塚市
通学合宿（地域
教育カネットワ
ーク）

川崎市
地域の寺子屋
（地域教育会
議）

詳しくは、『地域と学校の連携・協働の推進について（答申）』をご覧ください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/gt2/shougakushin.html>

親子でお出かけください！

「もっと、話そうよ。大切な家族だから。」

ファミリー・コミュニケーションの日

神奈川県教育委員会では、家庭でのコミュニケーションを大切にし、子どもたちが自分の気持ちを素直に表現する力や相手を思いやる気持ちを育む「ファミリー・コミュニケーション運動」を推進しています。

その一環として、毎月第一日曜日を「ファミリー・コミュニケーションの日」とし、県民の方で18歳未満のお子様連れの家族が、優待施設となっている社会教育施設や協賛企業の店舗等に来館、来店された場合に優待券を提示いただくと、料金割引等の各種サービスが受けられる取組を行っています。

優待券等詳細は <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/vn7/cnt/f7179/p26353.html>



こんなイベントやっています！



近代 美術館 (葉山)

企画展 堀内正和展

おもしろ楽しい心と形

会期:12月8日(土)

～3月24日(日)

身体の一部や幾何学図形など、身近な形をヒントに制作した彫刻家・堀内正和(1911-2001)。未公開スケッチやメモなども紹介し、作者の思考を紐解きます。

金沢文庫

予告

明治150年特別展

「伊藤博文と金沢」

会期:1月19日(土)～

3月10日(日)

金沢に別邸を構えた初代内閣総理大臣伊藤博文を軸に、明治の元勳たちと金沢との関わりや、当時の金沢の様子を、明治憲法関係資料などにより紹介します。

歴史 博物館

ワークシート

「学んで楽しむ

はくぶつかん」

小学生の皆さんが、博物館を楽しく回るためのワークシートです。博物館の「もの」を、「見て」「探して」「考える」ツールとして、常設展用に2種類、ご用意しています。受付でお申し出ください。

このほか、県立の図書館でも、様々なイベントを行っています。詳しくは、各館のホームページをご確認ください。

○近代美術館 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp/>

○県立の図書館 <http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/>

○歴史博物館 <http://ch.kanagawa-museum.jp/>

○金沢文庫 <http://www.planet.pref.kanagawa.jp/city/kanazawa.htm>

